

河上集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成30年 6月21日

修正日： 年 月 日

市町村名	日南町	組織名	農事組合法人かわかみ
1 地区の範囲 日野郡日南町河上			
2 地区の概要			
水田面積 14.686ha		主な水田栽培作物	水稲・そば
農家数		22戸	
認定農業者数 1経営体		人・農地プランの中心となる経営体数 1経営体	
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
	【項目】	【現状】	【目標】 31年度
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成26年1月23日	年 月 日
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型(○) ・未組織	・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型(○)
	構成農家数	22戸	22戸
農地の集積	集積面積 A	9.266ha	10.551ha
	対象水田面積 B	14.458ha	14.458ha
	集積率 A/B	64.1%	73.0%
	地区外集積面積 C	4.394ha	4.394ha
	経営面積 A+C	13.660ha	14.945ha
世代交代への取組		—	—
新規就農者の活動参画		—	—
4 添付資料 集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）			
注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。			
注2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。			
注3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。			

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>河上地区の農地は自分たちで守ることを目的に、平成26年に農家組合の関係者で農事組合法人かわかみ(以下「法人」という。)を設立しました。目的を達成するために、個人農家には、作業委託等を利用しながら個人で営農出来る間は続けてもらい、それが困難になれば法人が利用権設定して耕作することとしています。</p> <p>集積農地は年々拡大しており、現在集積率は64.1%になりましたが、今後も経営面積の拡大が見込まれる中で地域の担い手として、引き続き法人の健全経営をおこなって行くこととしています。今後も効率的で高収益の農業を目指し、農地中間管理機構等様々な制度を活用しながら堅実に押し進めていきます。</p>
2 水田の作付計画(水稲以外の作物を含む)、活用方針・具体策	<p>法人における水稲は、コシヒカリ、ヒメノモチ、飼料米を作付していますが、今後品種ごとに団地化して、作業効率を高めるよう努めていきます。ソバの作付けも同様の方針で取り組み、収益性の高いピーマン、トマトの栽培にも労働力を勘案しながら、法人として取り組んでいくこととします。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>農業機械の移動時間の短縮や作業効率を高めるために、農地の利用集積や受託作業農地の団地化に法人として取り組んでいます。今後、集積農地の拡大に伴い、水稲刈取作業の効率を高めるためコンバインの導入や、水田の水管理を安定させるために畦塗り機を導入するなど、新たな機械の購入や機械能力の向上が必要です。そのため、鳥取県集落営農体制強化支援事業を活用して、コンバインの大型化(3条刈→4条刈)と畦塗り機の新規導入に取り組みます。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>現在、60代メンバーを中心に農作業を実施し、農繁期には、勤めのある若手後継者にも参加してもらい労働力を確保しています。将来的には、現在は休日しか参加できない後継者が法人の中心メンバーになって活動してくれることを期待して、若手後継者が活動し易いように、法人における農業機械の充実や体制整備を図ることとしています。</p>
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】	

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	4条刈	1	7,668,000	H30.9	○
畦塗り機	適応畦高 20~30cm	1	998,000	H30.9	○